

古いものと新しいものの共存

in_KITAKYUSYU



学習は「学問を習う」、※学修は「学問を学びおさめること」との意です。つまり学修は、授業だけではなく、事前・事後の学習を主体的に行うことにより、深く学問を理解し身につけることと言えます。

※一般的に、大学での探究的な学びを「学修」とよんでいます。点ではなく、線として学びをさします。

日本は、豪雨、台風などの自然災害が多い国です。一方で、「梅雨」「小雨」「霧雨」「雷雨」「五月雨」「冰雨」「長雨」「時雨」「春雨」「緑雨」「秋雨」「秋霖」「あさ風」「そよ風」「つむじ風」「春風」「春一番」「東風」「北風」「南風」「黒南風」「白南風」「薰風」「松風」「空っ風」「凧（こがらし）」「疾風」など、多様で繊細な言葉の表現と豊かな四季をもつのも我が国です。長い歴史の中で、築き上げてきたこと、災害を復旧・復興してきたこと、災害を克服しようと努力し工夫してきたことを、「学びおさめる」ことができた真の学修（修學旅行）となりました。

3年生の保護者の皆様におかれましては、取組を御理解いただき、また、様々な変更を受け入れていただき、心より感謝申し上げます。立ち居振る舞いにとても品格のある、素晴らしい最上級生に成長してくれたことを、とてもありがとうございます。嬉しく、そして誇らしく思っております。





北九州市門司港レトロエリア、平尾台に向けて出発です。



関門海峡ミュージアム レトロ通り

大正時代の門司港の街並みを再現した空間。繁栄の様子がわかります。

旧門司三井俱楽部の外観と昼食



AINSHUTAIN博士も宿泊した国重要文化財。アールデコ調建造物です。



真夏でもとても涼しい鍾乳洞。豊かな自然の悠久の営みを感じます。